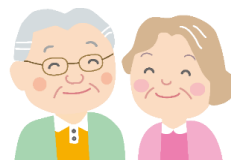


認知症について知ろう！

認知症とは老いに伴う病気のひとつです。認知症になると何もわからなくなる、というのは間違いです。周囲の人が認知症の人を理解し、その人が出来ない部分をそっと支えてあげれば、自分でやれることも増え、おだやかに暮らしていくことができます。



「認知症による物忘れ」は「加齢による物忘れ」とは異なります

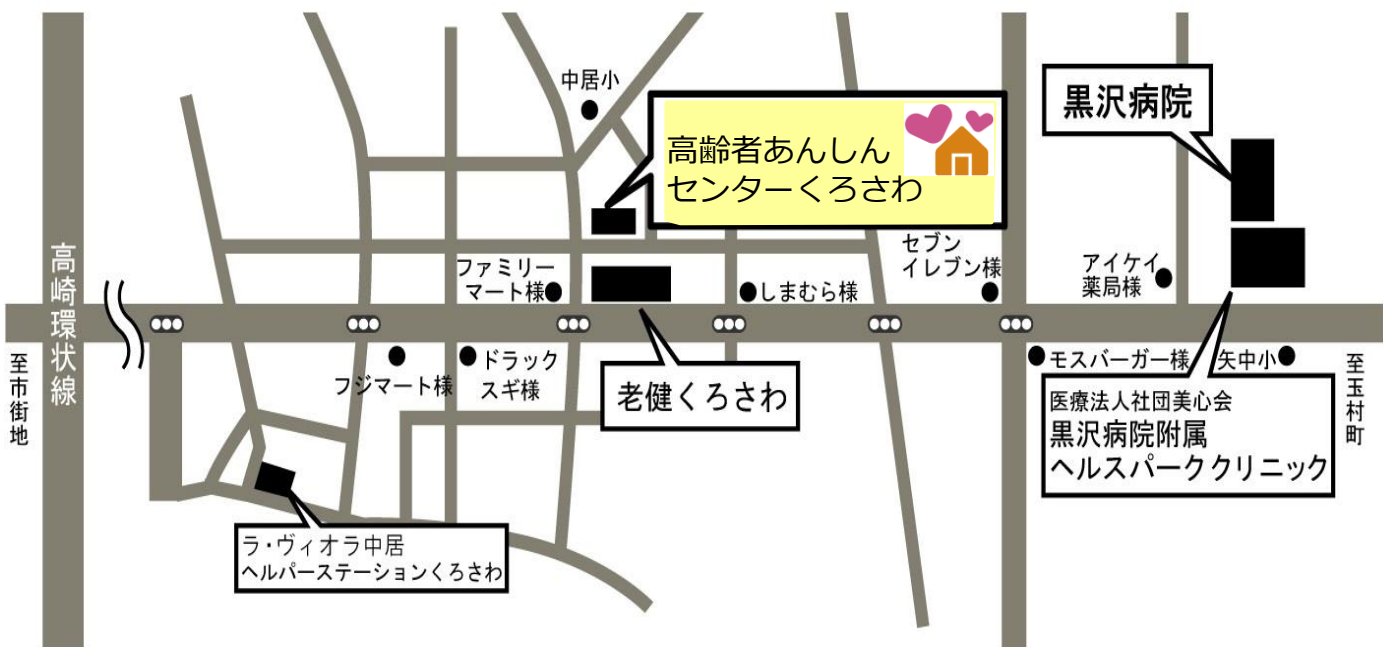
「加齢によるもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」の違い（一例）

	加齢によるもの忘れ	認知症によるもの忘れ
体験したこと	一部を忘れる 例) 朝ごはんのメニュー	すべてを忘れている 例) 朝ごはんを食べたこと自体
もの忘れの自覚	ある	ない
探し物に対して	(自分で) 努力して見つけようとする	誰かが盗ったなどと、他人のせいにすることがある
日常生活への支障	ない	ある
症状の進行	極めて徐々にしか進行しない	進行する

早期発見、早期治療を行うことで認知症の進行を遅らせたり、場合によっては症状を改善したりすることするも出来ます。自分自身や周囲の人について「もしかして認知症では」と思われる症状に気づいたら、一人で悩まず気軽に相談ください。

あんしんセンターのご案内

開設時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~17:15	●	●	●	●	●	×	×



【お問い合わせ】

高齢者あんしんセンターくろさわ

高崎市中居町3丁目20-8(老健くろさわ北)



☎ 027-353-2333

担当職員：木暮 田村 山田